

金仏さん

語りの会「良寛さん」会員 おおもとよし子

円通寺の石庭を見下ろすように“金仏さん”と呼ばれる青銅づくりのお地蔵さんが立っている。

ある夜、このお地蔵さんが燃えるように熱くなった。「これはどうしたことだろう。仏像が熱がっている。早く水をかけておくれ」和尚は寺僧に命じて、金仏さんに水をかけさせたところ、金仏さんから湯気がもうもうと立ちのぼった。

しばらくして、江戸の火消しから礼状が届き、中に「江戸で大火があったが、火の中に円通寺の定紋入りの提灯が高々とかかげられていたため、火消したちがおおいに勇気づけられました」と書かれてあった。手紙を読んだ和尚は、「そうか、金仏さんが熱つかったのは江戸の大火を消しに行かれていたのか」と得心したそうだ。昔こっぴり

(この金仏さんは、青銅製露座像で高さ2メートル。倉敷市の重要文化財指定されている)